

社会科（歴史的分野）

社会科（歴史的分野）について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。
- 4 グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が我が国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえ理解し、我が国の歴史に対する愛情を深めるとともに、公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。
- 5 生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の歴史と郷土に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる伝統と文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深められるよう、また、広い視野を持ち、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重する態度や国際協調の精神を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

社会科（歴史的分野）

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新編 新しい社会 歴史」

学習課題が、章を通して探究する問い「探究課題」、各節で追究する問い「探究のステップ」、毎時間ごとの「学習課題」の3段階で構造化されて示されるとともに、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が具体的に設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。各章や毎時間の導入では、導入資料が提示され、学習課題を追究するきっかけとなる読み取りの視点や具体的な活動が随所に設定されている。

「みんなでチャレンジ」や資料の読み取りを促す活動コーナーでは、複数の視点から歴史的事象を考察し、資料から読み取ったことを基に話し合う活動を計画的に行うことができるよう構成されている。特設ページ「地域の歴史を調べよう」では、課題解決的な学習の具体的な進め方に加え、ポスターセッション、歴史新聞、レポート、イラストマップ、プレゼンテーションなど、生徒がまとめ・表現する際の多彩な方法が紹介されるなど、よく工夫されている。

単元のまとめりや見開き2ページを単位とした学習内容ごとに学習課題が設定されており、「チェック」と「トライ」の項目にて生徒が個別に学習課題に沿った学習活動を進めることができる。「みんなでチャレンジ」のコーナーも充実しており、生徒が教科書を活用しながら個別最適な学びと協働的な学びを展開できる工夫として優れている。

各章の「まとめの活動」では、節の問いについて、思考ツールや年表を活用して時代の出来事を構造化して整理し、その時代の特色を文章でまとめるという一連の活動によって、生徒が歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えるための工夫が優れている。

本文と関連して、随所に代表的な国宝や重要文化財、史跡などが写真等で掲載され、充実した文化史の紙面や、郷土の偉人を取り上げた人物コラムなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

■教育出版「中学社会 歴史 未来をひらく」

学習課題を、章の問い、節の問い、毎時間の学習課題の3段階で構造化するとともに、毎時間の学習課題に応じた振り返りの視点を示して、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。各章のはじめには、導入資料とともに資料を読み取る具体的な活動が設定され、また、随所に生徒が資料を読み取り・分析する際の視点がイラスト付きの吹き出しの形で示されている。

「表現」で、「説明しよう」「話し合おう」として、自分の言葉で説明したり、対話したりする言語活動が設定されている。また、各章末の「学習のまとめと表現」では、歴史的な見方・考え方を働かせて、生徒が時代の特色を自分の言葉で表現する活動が取り入れられるなど、多様な言語活動の充実が図られ、よく工夫されている。第1章の「身近な地域の歴史を調べよう」では、インタビュー活動を通して調べたり、話し合っただけでなく、まとめて発表したりする活動の進め方が具体的に紹介され、生徒が課題を追究し解決する学習に取り組めるよう工夫されている。

歴史学習の興味や関心を広げていくコラム「歴史の窓」や、歴史を様々な側面から掘り下げていくテーマ学習の特設ページ「歴史を探ろう」など、本文の内容を視点を変えて捉えなおす題材が多く取り上げられるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすい。

各章末「学習のまとめと表現」では、年表形式の構造図で時代の流れを大きく捉え直す活動や

その時代の特色を歴史新聞、関係図等で整理してまとめる活動が設定されているなど、生徒が歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えるための多様な活動が設定されている

「未来をひらくために」や終章の「歴史を振り返って、未来を構想しよう」で、SDGsの17の目標を示し、歴史の流れを踏まえて現代の課題とこれからの社会を築いていくために自分たちに何ができるかを考察・構想する学習が用意されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。

■帝国書院「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」

学習課題が、章を貫く問い、節の問い、毎時間の問いの3段階で示されているとともに、問いに対応したまとめや振り返り活動が構造的に設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。随所に設定されている「資料活用」では、資料を読み取る視点が具体的に示されるなど、生徒が資料を読み取る力を高められるよう工夫されている。

「説明しよう」で、1時間の学習内容を説明してまとめる活動が設定されている。各章末の「学習を振り返ろう」では、各節の問いに対する考えをまとめる活動が設けられており、さらに、「章の問い」に対する自分の考えを導き出せるよう丁寧に手順が示されているなど、節・章・毎時間ごとに、生徒が知識及び技能を活用しながら、思考力・判断力・表現力等を繰り返し高めていくことができるようよく工夫されている。また、「アクティブ歴史」では、論争的な課題が用意され、論点の整理から議論する活動を通して、生徒が様々な立場を踏まえて自分の考えを深めていく活動が設定されるなど、多面的・多角的に考察する力を身に付けられるよう、よく工夫されている。

本文の内容をさらに深く掘り下げるコラム「歴史プラス」、当時の人々の姿から社会の課題を関連付けて捉える「未来に向けて」、地域の姿を掘り下げる「地域史」など、数多くのコラムが設けられ、生徒の興味・関心を引き出し、発展的な学習に取り組みやすいようよく工夫されている。

各節の冒頭の随所に設定される「タイムトラベル」で、考察する際の視点が示され、節や章、毎時間に、考察したことを説明する課題が設けられている。また、「思考ツール」を特設ページで紹介し、どの生徒にとっても学習に取り組みやすいようよく工夫されている。

コラム「未来に向けて」では、SDGsと関連付けた環境・交流・人権・平和の視点から、先人たちの取組が紹介されている。また、特設ページ「これからの社会を構想しよう」では、歴史的な背景を踏まえながら問題の解決方法を考え、22世紀の中学生へのメッセージとしてまとめる活動が提案されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付ける学習課題の工夫に優れている。

■山川出版社「中学社会 日本と世界 改訂版」

各章末にワークシート形式で、各時代の変化や影響を考察し、表や地図に整理してまとめる活動が用意されており、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。一方で、毎時間の学習課題は発問形式で示されているが、単元や節のまとめりとしての学習課題は設定されておらず、生徒の学習内容の習得に向けた手立てとしてやや弱い。

毎時間の学習課題や本文の関連資料に付されている問いの形で示された課題、特設ページ「歴史を考えよう」「歴史へのアプローチ」など、時期や年代、推移、美術作品、史跡など多様な視点から歴史を捉え、考えられるよう、全体を通して言語活動につなげる発問が豊富に用意されており、生徒が多面的・多角的に考察する力を身に付けられるよう工夫されている。「身近な地域を調べよう」では、テーマの設定から調査の進め方、レポートの書き方や発表方法が分かりやすく示

されるなど、生徒が課題解決的な学習を進められるよう工夫されている。

特設ページ「地域からのアプローチ」等を通じて、生徒の探究意欲を高めようとする工夫や、「ステップアップ」で、学習内容を深められるように課題が設定されているが、生徒が単元の学習内容を見通す場面はあまり示されておらず、学習の動機づけや主体的・対話的な活動を促す場面の工夫としてはやや弱い。

毎時間の「ステップアップ」やコラムに関連した考察する視点や発問が各所に示され、「歴史を考えよう」、「地域からのアプローチ」、各章末の「章のまとめ」では、生徒が考察する際の視点や手順が示されているなど、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されている。

章の始めに、その時代の日本の年表に加え、世界の年表や世界の様子が世界地図とイラストで示されているなど、関連資料や古代から近代の世界の歴史に関する記述が充実しており、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を深く学ぶための工夫に優れている。

■日本文教出版「中学社会 歴史的分野」

各編の導入で、編の問いにつながる具体的な活動と節ごとの問いが示され、毎時間の学習課題とその課題解決の手がかりとなる見方・考え方が併せて示されている。さらに、学習課題に対応したまとめや見方・考え方を働かせて取り組む問いが設定されるなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、各所に資料の読み取りを補助する「資料活用」や、調べ学習や史跡見学の方法等を紹介する「スキルUP」コーナーが設けられている。

各編に設定された「チャレンジ歴史」では、考古資料の読み取りから、話し合いや意見交換を通して、多面的・多角的に課題について考え、自分の言葉でまとめ、説明する活動が用意されており、生徒が歴史を学ぶ面白さを感じながら、多様な言語活動に取り組めるよう、よく工夫されている。また、各章の特設ページ「でかけよう！地域調べ」では、史跡・遺跡見学や博物館見学による調査の進め方や歴史新聞のまとめ方が紹介され、課題解決的な学習の充実が図られている。

資料を考察する際の問いやまとめにおいて、「学び合い」のマークを設定し、協働的に学ぶ学習活動が展開できるよう工夫されている。

各編の導入や毎時間の学習で、考察の視点を具体的に示し、「確認」で説明する活動、「深めよう」で学習課題をさらに深める問いが設定されている。また、「チャレンジ歴史」や各章末の「アクティビティ」でも、考察の視点や手順を3つのステップで具体的に示し、学習に繰り返し取り組む中で、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫され、優れている。

「歴史を掘り下げる」「出かけよう地域調べ」「地域に学ぶ」「先人に学ぶ」では、地域に受け継がれてきた行事や活動等を継承、発展させることの意義が重視されている。文化史や文化財に関する資料が数多く掲載され、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

■自由社「新しい歴史教科書」

章末に、「調べ学習のページ」「復習問題のページ」「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」が設定され、テーマ別の調べ学習、一問一答式の復習、地図問題等を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。一方で、章や節をまとまりとした学習課題が見られないことや、まとめや振り返りとして示されている活動が毎時間の学習課題に対応していない面も見られ、生徒の学習内容の習得に向けた手立てとして弱い。

章の導入やまとめの中で会話をしながら問いに向かう様子のイラストを掲載するなど、言語活

動を基にした授業のイメージを示すとともに、毎時の学習に設定された「チャレンジ」で、学んだことを説明する活動を示して、言語活動の充実を図る工夫はされているが、議論をもとに考察させる場面を引き出す工夫はあまり見られない。各章冒頭にその時代を象徴する絵や地図を示し、疑問を提示することで、学習の意欲を高めようとするねらいが感じられる。

歴史的事象を深く知るためのコラムが豊富に掲載され、生徒の探究意欲を高め、より深い学びへのきっかけをつくろうとする工夫が見られるものの、章末の活動では、キャラクターを通じて、生徒に気づかせたい視点等を必要以上に例示していることなど、全体を通して、対話的な学びを引き出す課題設定や工夫の面ではやや課題が見られる。

掲載している写真や史料に関わって会話場面をイラストで示しながら、歴史の見方や考え方を働かせることができるよう工夫されている。各所に掲載されているコラムでは、本文の学習内容と関わって歴史の見方や考え方を働かせた捉え方から歴史を考察できるよう工夫されている。

「人物コラムクローズアップ」や「もっと知りたいコラム」にて、平和に尽力した人物や、持続可能な社会づくりの歴史的な事例が紹介して学習内容と関連付けることで、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。

■育鵬社「新しい日本の歴史」

学習課題は、章の問い、節の問い、毎時間の問いの3段階で構造化されている。章ごとの学習に対応した「学習のまとめ」で時代の特色を整理する学習課題を設定するなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。随所に「歴史ビュー」や「歴史ズームイン」として、多角的な視点で時代を捉えるためのコーナーやコラムが用意されるなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。

節の区切りの場面を中心に設定された「歴史ズームイン」では、当時の時代背景と現代社会のつながりを調べたり、生徒同士で発表するといった活動が設定されている。また、学習課題と関連付けられた「探究」の課題では、まとめたことを説明する活動を設定するなど、様々な対話的な学びをもとに、生徒が自らの考えを深め、多面的・多角的に考察する力を身に付けられるよう、よく工夫されている。

章の導入の「歴史絵巻」で時代の流れと学習する課題を大観させ、節の問いと関連付けられた各ページの「課題」や「確認」・「探究」を活用して生徒が個別に学びを進めることができるように工夫されている。

毎時間の学習や章末の「学習のまとめ」で、学習内容を説明する活動を数多く設定する工夫が見られる。また、終章「日本の歴史を大観する」の課題を通じて、生徒が自ら選択した歴史的事象から、考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されている。

序章の「歴史探検」では、小学校で学んだ歴史上の出来事と文化遺産を関連付ける課題を設け、巻頭や巻末、多様な特設ページで、文化財や人物に関する資料を豊富に取り上げている。各時代で活躍した人物に着目し、文化の特色や変遷を関連付けることで、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

■学び舎「ともに学ぶ人間の歴史」

大きな時代のまとまりごとに学習課題が示され、学習内容を習得できるよう工夫されている。各章末の「歴史を体験する」では、歴史的な人物や芸術作品の調べ学習等が提案されるなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。

各部や各章末に、地図や年表を用いたグループ活動等を通して、生徒自身が時代の特色や転換を振り返りながら、考察し、表現する活動が設定されている。また、特設ページ「歴史を体験する」では、歴史上の人物の主張に対して賛否を討論する活動が設けられるなど、多様な言語活動の充実が図られている。毎時間のまとめ活動の設定がないことに加え、各部の「学習のまとめ」では、時代の特色や転換を捉え、その時代の特色を自分でまとめる活動が設けられているものの、各部冒頭に示される学習課題とのつながりが明確でないため、生徒が課題を追究し解決する学習を進めるための手立てとなり得ていない。

学習の問いや章のまとめの課題で、個別に学習を進めたり、協働的に学ぶ場面は設定されているが、学習状況を振り返る場面の設定が少なく、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫としては弱い。

各部のまとめ活動、各章末の振り返り活動等で、学習したことを関連付けて説明する活動が設けられているが、毎時間の学習では設定されておらず、生徒が考察する力や説明する力を身に付けるための手立てが弱い。

第6部「現代 学習のまとめ」で、時代の変化を捉え直しながら、国際社会の課題を考える課題学習として、難民、公害と環境、戦争と平和を取り上げたモデル文をもとに個人又はグループで考えを深めるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。

■令和書籍「国史教科書 第7版」

学習課題は、章の問い、項目ごとの問いの2段階で示されている。章の問いでは、政治・外交・文化・産業を視点とした問いが設定され、その問いに対応したまとめや振り返り活動が設定されており、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。資料や地図、文献資料が提示され、「考えよう」で資料を読み取る活動が示されているところもあるが、資料を読み取る際の視点などは示されておらず、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けるための工夫としてはやや弱い。

章末の「まとめ学習」を通じて、グループで協働的に調べたり、互いにまとめたことを説明する活動も示されているが、「課題」と「考えよう」の2段階の問いによる学習活動は、具体的に言語活動を行う学習に繋げるようには示されておらず、生徒が主体的に対話を行い、学びを深めるための手立てとしてはやや弱い。毎時間のまとめとして提示される「考えよう」が、学習課題として提示される「課題」の内容と対応していないことや、章末の「学習のまとめ」が章で学習した内容の一部を切り取って、まとめ、振り返る活動として提示されていることから、生徒が見通しを持って課題を追究したり、解決したりする学習にはつながりにくく、手立てとしては弱い。

コラムや「考えよう」に示された問いを通じて、より深く学ぶための視点を示しており、章末の「まとめ学習」で調べ方やまとめ方といった技能を習得できるよう工夫されている。また、豊富な文献資料が掲載され、発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。

「課題」や「考えよう」を通じて、自ら調べ、まとめる活動を促し、個別に学習を進めることができるように工夫されているが、問い同士のつながりがあまり見られず、考察につなげたり、説明や議論といった対話的な活動を促すための手立てとしてはやや弱い。

持続可能な社会については、本文中に用語として扱われているが、持続可能な社会の姿を考察し、生徒の社会参画意識の高まりに繋げる学習活動としては大きく取り上げられていない。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点		東京書籍	教育出版	帝国書院	山川出版	日本文教出版	自由社	育鵬社	学び舎	令和書籍		
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。	1	基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた工夫	○	○	○	○	○	○	○	△	△		
		2	指導事項(学習課題やまとめ・振り返り活動等)の明示	◎	◎	◎	△	◎	△	◎	○	○	○	
		3	用語・語句の取り上げ方や説明・注釈などに関する工夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		4	様々な情報を収集・読み取り・まとめる技能を身に付けるための工夫	○	○	○	○	○	△	○	○	○	△	△
2	習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。	1	習得した知識及び技能の活用を促す工夫	○	○	◎	○	○	○	○	○	△		
		2	説明したり議論したりするなどの言語活動の充実	◎	◎	◎	○	◎	△	◎	○	○	△	
		3	課題を追究したり解決したりする学習の進め方の提示	◎	○	○	○	○	○	○	○	△	△	
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。	1	探究意欲を高め、主体的・対話的に学ぶための工夫	○	○	○	△	○	△	○	○	△		
		2	発展的な学習活動につながる工夫	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	
		3	ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫	◎	○	○	○	○	△	○	△	△	△	
4	グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が我が国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえ理解し、我が国の歴史に対する愛情を深めるとともに、公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。	1	歴史の流れを大観し、各時代の特色を捉えるための工夫	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○		
		2	歴史的な見方・考え方を働かせる課題設定の工夫	○	○	◎	○	◎	○	○	○	△	○	
		3	考察する力や説明する力を育成するための工夫	○	○	◎	○	◎	○	○	○	△	△	
5	生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の歴史と郷土に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる伝統と文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深められるよう、また、広い視野を持ち、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重する態度や国際協調の精神を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。	1	持続可能な社会の形成に参画する態度を養うための工夫	○	○	◎	○	○	○	○	○	△		
		2	我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うための工夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		3	我が国の歴史と世界の歴史との関連に関する記述	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。	1	人権教育の推進	○	○	○	○	◎	○	○	○	△		
		2	道徳教育の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。	1	単元構成の系統性・発展性	○	○	○	△	○	○	○	△	△		
		2	他教科や教育課題等との関連	○	○	○	○	○	△	△	△	△		
		3	他校種との接続	○	○	○	○	○	○	○	○	△		
		4	家庭・地域との連携	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1	文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	○	○	○	○	○	△	△		
		2	ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○	○	△	○	○	△		
		3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○	○	△	○	○	△		

【社会（歴史的分野）】観点別資料

【選定の観点1-1】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○「チェック」「トライ」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。「チェック」では、基礎的・基本的な内容を確認し、「トライ」では、学習課題に対応した要約や説明をする活動に繰り返し取り組むことで、段階的に振り返りながら、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。	○「確認」「表現」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。「確認」では、基礎的・基本的な内容を確認し、「表現」では、説明や話し合い活動を行うことで、段階的に振り返りながら、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。	○「確認しよう」「説明しよう」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。「確認しよう」では、本文から重要語句やポイントを書き出し、「説明しよう」では、習得した知識を活用する言語活動に繰り返し取り組むことで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。	○「ステップアップ」で、「どのように」「比較してみよう」「考えてみよう」「なぜだろう」といった発問を経て、毎時間の学習を深める課題が示されており、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。	○「確認」「表現」の2段階で、学習課題と共に示された見方・考え方を基に、学習のまとめができるよう工夫されている。学習課題に対応した言語活動に繰り返し取り組むことで生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。	○毎時間に設定されている「チャレンジ」で、「説明しよう」「まとめてみよう」「表にして比べてみよう」といった活動を通して、基礎的・基本的な内容を確認したり、要約や説明をすることで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。	○「確認」「探究」の2段階で、毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、「探究」では、習得した知識を活用して説明するなどの活動が設定されており、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。	○毎時間ごとに、疑問文の形式で学習課題が設定されているが、まとめ活動は設定されておらず、生徒が学習内容を習得するための手立てが弱い。	○章の中に適宜学習内容の定着のための「考えよう」の課題が設定されているが、毎時間ごとに対応した学習のまとめとなる活動は示されておらず、生徒の学習内容の習得に向けた手立てとして弱い。

【選定の観点1-2】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
<p>○単元末に設定している「まとめの活動」で、節や章の問いの解決につながる語句の意味を調べたり、主な出来事や重要語句を年表や資料に整理したり、地図や資料を読み取ることで、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。また、学習課題が、章を通して探究する問い「探究課題」、各節で追究する問い「探究のステップ」、毎時間ごとの「学習課題」の3段階で構造化されて示されるとともに、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が具体的に設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。</p>	<p>○章末の「学習のまとめと表現」の、年表や地図を基に、学習した語句や人物との関わりを確認する学習活動や、習得した知識及び技能を活用して説明したり、資料を読み解く課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。また、学習課題を、章の問い、節の問い、毎時間の学習課題の3段階で構造化するとともに、毎時間の学習課題に応じた振り返りの視点を示して、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。</p>	<p>○章末に「学習を振り返ろう」が設定されており、年表や地図を用いて基礎的・基本的な知識を整理したり、章で学習した時代の特色を指定された話型でまとめたりする活動を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。また、学習課題が、章を貫く問い、節の問い、毎時間の問いの3段階で示されるとともに、問いに対応したまとめや振り返り活動が構造的に設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。</p>	<p>○各章末にワークシート形式で、各時代の変化や影響を考察し、表や地図に整理してまとめる活動が用意されており、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。一方で、毎時間の学習課題は発問形式で示されているが、単元や節のまとめりとしての学習課題は設定されおらず、生徒の学習内容の習得に向けた手立てとしてやや弱い。</p>	<p>○編末に「まとめと振り返り」が設定されており、年表と地図を基に、いっどこで何があったのかを確認したり、編の問いや学習した時代の特色を指定された話型でまとめる活動が設定されるなど、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。また、各編の導入で、編の問いにつながる具体的な活動と節ごとの問いが示されるとともに、毎時間の学習課題とその課題解決の手がかりとなる見方・考え方が併せて示されている。さらに、学習課題に対応したまとめや見方・考え方を働かせて取り組む問いが設定されるなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。</p>	<p>○章末に、「調べ学習のページ」「復習問題のページ」「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」が設定されており、テーマ別の調べ学習、一問一答式の復習、地図問題等を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。一方で、章や節をまとめりとした学習課題が見られないことや、まとめや振り返りとして示されている活動が毎時間の学習課題に対応していない面も見られ、生徒の学習内容の習得に向けた手立てとして弱い。</p>	<p>○章末の「学習のまとめ」で、「年表」「資料の活用」「各時代の重要人物」「地図」を基に、その時代の特色を文章でまとめる活動が提案されるなど、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。学習課題は、章の問い、節の問い、毎時間の問いの3段階で構造化されている。章ごとの学習に対応した「学習のまとめ」で時代の特色を整理する学習課題を設定するなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。</p>	<p>○各章末に「章をふりかえる」「学習のまとめ」が設定されており、学習内容を確認する問い、指定された語句を用いて説明する問い、その時代の特色について記述する問いが用意されており、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。毎時間のまとめ活動は設定されていない。大きな時代のまとめりごとに学習課題が示され、学習内容を習得できるよう工夫されている。</p>	<p>○各章末に「まとめ学習」が設定されおり、時代ごとの特色を表や年表に整理する活動や学習内容を確認する設問が示されており、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。学習課題は、章の問い、項目ごとの問いの2段階で示され、章の問いでは、政治・外交・文化・産業を視点とした問いが設定され、その問いに対応したまとめや振り返り活動が設定されており、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。</p>

【選定の観点1-3】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
<p>○本文の難しい用語には、側注で解説を示すとともに、巻末の「用語解説」ページでも補充されている。また、本文・巻末ともに関連ページが表示されるなど、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○資料の読み取りを促すコーナーが鉛筆のイラストを用いて随所に設定されている。各章や毎時間の導入では、導入資料が提示され、学習課題を追究するきっかけとなる読み取りの視点や具体的な活動が随所に設定されている。また、時代を反映する系図や絵巻物、屏風絵、風刺画等を読み解く視点が具体的に示される「スキル・アップ」コーナーなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、側注で解説が示されるとともに、適宜「解説」コーナーが設けられており、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○各章のはじめには、導入資料と共に、資料を読み取る具体的な活動が設定されている。また、随所に生徒が資料を読み取り、分析する際の視点がイラスト付きの吹き出しの形で随所に示されている。コラム「歴史の技」では、資料活用の方法・手順等が示されており、個人やグループ活動を通して、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、側注で解説が示されるとともに、適宜「解説」コーナーが設けられており、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○随所に設定されている「資料活用」では、資料を読み取る視点が具体的に示されるなど、生徒が資料を読み取る力を高められるよう工夫されている。また、「タイムトラベル」や「技能をみがく」として、各時代の様子を比較したり、時代の特色を捉えたりするための特設ページやコーナーが随所に用意されるなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、側注で解説が示されるとともに、「用語解説」コーナーを設け、意味が分かりにくい言葉の解説により、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○本文に掲載される関連資料に、資料を読み取る視点が問いの形式で数多く提示されている。また、各所に設定される特設ページ「歴史を考えよう」では、その時代に特徴的な事象等を読み解く視点や活動が提示されるなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、側注で解説が示されるとともに、適宜「基本用語」コーナーが設けられており、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○各編の導入で、導入資料と共に時代を読み取る視点や具体的な活動が示されている。また、各所に資料の読み取りを補助する「資料活用」や、調べ学習や史跡見学の方法等を紹介する「スキルUP」コーナーが各所に設けられるなど、生徒が歴史学習に必要な技能が身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、側注で解説を示している。巻末の「重要用語解説」や適宜用意されている「歴史の言葉」が、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○各章末の「調べ学習のページ」や「時代の特徴を考えるページ」では、具体的な活動内容が設定されている。一方で、掲載した資料と関連付けて適宜キャラクターの吹き出しが加えられている工夫が見られるものの、読み取る視点が明確でない場合も見受けられ、生徒が資料を活用する技能を習得する手立てとしてはやや弱い。</p>	<p>○本文の難しい用語には、側注で解説が示されており、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○各章冒頭で紹介される世界各地の様子をテーマ別に紹介する資料で、その時代の世界状況を捉えることができるよう工夫されている。また、各章末の「歴史を体験する」では、歴史的な人物や芸術作品の調べ学習等が提案されるなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、側注で解説が示されており、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○各章冒頭で紹介される世界各地の様子をテーマ別に紹介する資料で、その時代の世界状況を捉えることができるよう工夫されている。また、各章末の「歴史を体験する」では、歴史的な人物や芸術作品の調べ学習等が提案されるなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、頭注・脚注で解説が示されており、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○おもに白黒の資料や地図、文献資料が提示され、「考えよう」で資料を読み取る活動が示されているところもあるが、資料を読み取る際の視点などは示されておらず、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるための工夫としてはやや弱い。</p>

【選定の観点2-1】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○「トライ」で、1時間の学習内容を基に要約や説明する言語活動が設定されている。また、各章末の「まとめの活動」では、章の学習を通して習得した知識及び技能を活用しながら、段階的に節の問いや探究課題の解決を図る活動や思考ツールを使って学習した時代のまとめを行う活動が設定されており、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。	○「表現」で、「説明しよう」「話し合おう」として、自分の言葉で説明したり、対話したりする言語活動が設定されている。また、各章末の「学習のまとめと表現」では、イラストや写真、年表、図を基に、その時代の出来事や変化を説明する活動やその時代の特色を考える活動が設定されており、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。	○「説明しよう」で、1時間の学習内容を基に説明してまとめる活動が設定されている。また、各章末の「学習を振り返ろう」では、各節の問いに対する考えをまとめる活動が設けられており、さらに、「章の問い」に対する自分の考えを、章の学習内容を活用しながら、導き出せるよう丁寧に手順が示されているなど、節・章・毎時間ごとに、生徒が知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を繰り返し高めていくことができるようよく工夫されている。	○毎時間の学習において、歴史が変化する過程で起こる諸課題についての問いと共に、その問いの解決につながるまとめ活動「ステップアップ」が設定されている。また、各章末のまとめでは、章の学習を通して習得した知識及び技能を活用して、その時代の特色や前後の時代との比較等を、多面的・多角的に考察し説明する活動がワークシート形式で用意されるなど、生徒が知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。	○「表現」で、1時間の学習内容を基に説明してまとめる活動が設定されている。また、各章末の「まとめとふり返り」や特設ページ「チャレンジ歴史」では、習得した知識を基に前の時代との共通点や違いを考えたり、その時代の特色を自分の言葉でまとめたりする活動が設定されており、生徒が知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。	○毎時間の学習課題と学習内容を振り返ってまとめを行う「チャレンジ」の活動を示すことで、知識及び技能の習得を目指すとともに、生徒が知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。	○「探究」で、1時間の学習内容を基に指定された語句を使って学習内容を確認したり、説明したり、まとめたりする活動が設定されている。また、各章末の「学習のまとめ」では、章で学習したことを基に、年表や資料を用いてその時代の特色を説明する活動が複数設定されるなど、生徒が知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。	○各部末の「学習のまとめ」や各章末の「章をふりかえる」で、学習した内容を基に、各時代を比較したり、関連付けたりしながら、その時代の特色を説明する活動が設定され、生徒が知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。	○節ごとに「課題」と「考えよう」を基に生徒の思考を引き出す問いが設定されているが、「課題」を通じて学習する内容は、学習の振り返りにあたる「考えよう」の問いの内容と対応していないため、各時間で生徒が習得した知識及び技能を活用する学習場面を促す工夫としては弱い面がある。

【選定の観点2-2】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○随所に「みんなでチャレンジ」や資料の読み取りを促す活動コーナーが設けられ、グループワーク等で複数の視点から歴史的事象を考察したり、資料から読み取ったことを基に話し合う活動を計画的に行うことができるよう構成されている。単元のまとまりの中で、生徒が各時代の人々や社会の様子を多面的・多角的に捉え、考えられるよう、よく工夫されている。	○歴史資料の読み解きを示唆する「THINK!」や特設ページに設定されている「TRY!」等で、時代の特色を考察する活動が設定されている。また、各章末の「学習のまとめと表現」では、歴史的な見方・考え方を働かせて、生徒が時代の特色を自分の言葉で表現する活動が取り入れられるなど、多様な言語活動の充実が図られ、よく工夫されている。	○各章末の「章の学習を振り返ろう」で、章の問いに対して自分の考えを説明したり、深めるために話し合ったりする活動が設定されている。また、各所に設定される「アクティブ歴史」では、論争的な課題が用意され、論点の整理から議論する活動を通して、生徒が様々な立場を踏まえて自分の考えを深めていく活動が設定されるなど、多面的・多角的に考察する力を身に付けられるよう、よく工夫されている。	○毎時間の学習課題や本文の関連資料に付されている問いの形で示された課題、特設ページ「歴史を考えよう」「歴史へのアプローチ」など、時期や年代、推移、美術作品、史跡など多様な視点から歴史を捉え、考えられるよう、全体を通して言語活動につながる発問が豊富に用意されており、生徒が多面的・多角的に考察する力を身に付けられるよう工夫されている。	○各編に設定された「チャレンジ歴史」では、考古資料の読み取りから、話し合いや意見交換を通して、多面的・多角的に課題について考え、自分の言葉でまとめ、説明する活動が用意されている。時代の特色を考え、説明する活動を通して、生徒が歴史を学ぶ面白さを感じながら、多様な言語活動に取り組めるよう、よく工夫されている。	○章の導入やまとめの中で会話をしながら問いに向かう様子のイラストを掲載するなど、言語活動を基にした授業のイメージを示すとともに、毎時の学習に設定された「チャレンジ」で、学んだことを説明する活動を示して、言語活動の充実を図る工夫はされているが、議論を基に考察させる場面を引き出す工夫はあまり見られない。	○節の区切りの場面を中心に設定された「歴史ズームイン」では、当時の時代背景と現代社会のつながりを調べたり、生徒同士で発表するといった活動が設定されている。また、学習課題と関連付けられた「探究」の課題では、まとめたことを説明する活動を設定するなど、様々な対話的な学びを基に、生徒が自らの考えを深め、多面的・多角的に考察する力を身に付けられるよう、よく工夫されている。	○各部や各章末に、地図や年表を用いたグループ活動等を通して、生徒自身が時代の特色や転換を振り返りながら、考察し、表現する活動が設定されている。また、特設ページ「歴史を体験する」では、「対話・討論にチャレンジ」として、歴史上の人物の主張に対して賛否を討論する活動が設けられるなど、多様な言語活動の充実が図られている。	○章末の「まとめ学習」を通じて、調べる際にグループで協働的に学ぶことや、互いにまとめたことを説明する活動が示される場面もあるが、「課題」と「考えよう」の2段階の問いによる学習活動は、具体的に言語活動を行う学習につなげるようには示されていないため、生徒が主体的に対話を行い、学びを深めるための手立てとしてはやや弱い。

【選定の観点 2-3】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
<p>○毎時間の学習課題の解決を積み重ねながら、節ごとの課題「探究のステップ」のまとめに取り組み、章末には、章全体の学習を通して追究してきたことを基に、探究課題の解決につながるまとめに取り組みという流れで、生徒が段階的な課題解決の学習に取り組めるよう工夫されている。また、特設ページ「地域の歴史を調べよう」では、課題解決的な学習の具体的な進め方に加え、ポスターセッション、歴史新聞、レポート、イラストマップ、プレゼンテーションなど、生徒がまとめ・表現する際の多彩な方法が紹介されている。</p>	<p>○毎時間の学習課題や各章末の「学習のまとめと表現」、節ごとに設定された課題に対して説明するまとめの活動が設けられている。また、第1章の「身近な地域の歴史を調べよう」では、インタビュー活動を通して調べたり、話し合ったりして考察したり、まとめて発表したりする活動の進め方が具体的に紹介されるなど、生徒が課題を追究し解決する学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○全ての章で、章を貫く問い、節ごとの問い、毎時間の問いが示されるとともに、それらの問いごとに振り返り活動が設定されており、生徒は章全体の見通しをもちながら、段階的に問いを追究することで、課題解決的な学習が進めやすい。また、第1部の「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、課題設定から調査手法、まとめの方法など一連の流れが示されている。さらに、「技能をみがく」コーナーでは、具体的な学習手順が紹介されるなど、生徒が課題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○第1章の「身近な地域を調べよう」では、テーマの設定から調査の進め方までイラストを交えて紹介され、また、レポートの書き方や発表方法が分かりやすく示されるなど、生徒が課題解決的な学習を進められるよう工夫されている。また、各章末では、政治・経済や世界とのつながり、変化についてまとめ、振り返る活動がワークシート形式で用意されており、単元を見通した課題設定に弱い面が見られるものの、生徒が課題解決を意識しながら学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○各編冒頭に、各時代を大観する資料が用意されており、時代の転換や特色を捉えるための視点と学習課題に加え、「何ができればよいか」との具体的な「めあて」が併せて示されている。また、各単元末には、時代を読み取る視点に着目して、生徒が学習課題を解決するための手順に沿って、振り返り活動に取り組めるよう工夫されている。さらに、各章の特設ページ「でかけよう！地域調べ」では、史跡・遺跡見学や博物館見学による調査の進め方や歴史新聞のまとめ方が紹介されるなど、課題解決的な学習の充実が図られている。</p>	<p>○各章末に「調べ学習のページ」が設定されており、各時代に関連するテーマを設定し、調べ学習の方法やまとめ方などの具体例を示すことで、生徒が主体的に取り組むための手立てがとられている。各章冒頭にその時代を象徴する絵や地図を示し、疑問を提示することで、学習の意欲を高めようとするねらいが感じられる。また、年表を先に示すことで、学習の見通しがもてるように工夫している。</p>	<p>○各章冒頭に用意されている、章の大きな歴史の流れを示す「鳥の目で見ると」、各時代の特色を捉える視点等を示す「虫の目で見ると」を経て、各章末の「学習のまとめ」で、時代を振り返り、その時代の特色をまとめる活動へとつながるよう段階的な学習活動が設定されている。章冒頭の「虫の目で見ると」と章末の「学習のまとめ」の関連性に弱い面が見られるものの、生徒が課題解決的な意識をもって学習に取り組む手立てになっている。</p>	<p>○毎時間のまとめ活動の設定がないことに加え、各部の「学習のまとめ」では、時代の特色や転換を捉え、その時代の特色を自分でまとめる活動が設けられているものの、各部冒頭に示される学習課題とのつながりが明確でないため、生徒が課題を追究し解決する学習を進めるための手立てとなり得ていない。また、特設ページ「歴史を体験する」の「地域の歴史を歩く」では、博物館や地域を歩いて調べたことをグループやクラスで発表する活動が紹介されているが、他社と比べて内容が弱く、生徒が課題解決的な学習を進める手立てとして十分ではない。</p>	<p>○毎時間のまとめとして提示される「考えよう」が、学習課題として提示されないことや、章末の「学習のまとめ」が章で学習した内容の一部だけ切り取って、まとめ、振り返る活動として提示されていることから、生徒が見通しをもって課題を追究したり、解決したりする学習にはつながりにくく、手立てとしては弱い。</p>

【選定の観点3-1】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
<p>○単元を貫く「探究課題」、各節の「探究のステップ」、毎時間ごとの「学習課題」の3段階に設定された学習課題と、それぞれに関連させた「導入の活動」「まとめの活動」によって、構造的に探究的な学習に取り組めるよう工夫されている。単元の導入部分でイラストや年表等を基に単元の学習課題を掴む対話的な学習を設け、生徒が見通しをもって主体的に学習が進められるよう工夫されている。また、各章の特設ページ「地域の歴史を調べよう」では、時代を代表する地域の調査・考察・まとめ活動が手順ごとに紹介されるなど、生徒が探究意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○導入の「○章の学習のはじめに」で、資料を基にこれから学習する時代の概要を掴む活動が設定されている。学習項目に「クリスマスまでには帰れるさ」といった生徒が興味を引くようなタイトルを付ける工夫が見られる。「読み解こう」「歴史の技」のコーナーで、生徒の対話的な学びを引き出すとともに、各所に設定される「THINK!」「TRY!」等で、学習課題と関連付けて歴史資料を読み解き、時代の特色を考察する探究的な活動が提案されている。各章の特設ページ「身近な地域の歴史を調べよう」では、その時代の特徴的な出来事や遺跡、寺社等が掲載されており、生徒の地域の歴史への興味と探究意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○章の冒頭に、「タイムトラベル」として、見開きで時代の概観を描いたイラストを掲載し、生徒が学習内容を見通すことができるように工夫されている。章のまとめでは、話し合い活動の場面を示し、対話的な学習によってより学びを深められるように構成されている。また、特設ページ「アクティブ歴史」でも、生徒の関心を高めるトピックを用いて、対話的な学習につながるよう工夫されている。随所に設定されている「歴史を探ろう」で、学習を深める関連資料や情報が豊富に掲載されていることや、「アクティブ歴史」で、各時代の様々な選択肢を当時の人々の立場に立って考察する活動が提案されるなど、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○各章の冒頭に、日本史年表と世界史年表を見比べられる形で掲載するとともに、各時代を代表する事象や文化財等の写真、風刺画、図版・イラスト等を示し、生徒の関心を高め、対話的な学習につながるよう構成されている。特設ページ「地域からのアプローチ」等を通じて、生徒の探究意欲を高めようとする工夫や、「ステップアップ」で、学習内容を深められるように課題が設定されているが、生徒が単元の学習内容を見通す場面はあまり示されておらず、学習の動機付けや主体的・対話的な活動を促す場面の工夫としてはやや弱い。</p>	<p>○各編の冒頭で、時代を代表する事象等が、写真、図版・イラスト等を用いて整理され、対話的な活動を展開できるように構成されている。「節の問い」を示し、単元のまとまりを通じた学習に対して、生徒が見通しをもって主体的に取り組めるよう工夫されている。また、特設ページ「チャレンジ歴史」や各ページに「学び合い」のマークで示された課題を基に、対話的な学びを促し、生徒が主体的・対話的な学習に取り組めるように工夫されている。「チャレンジ歴史」や「地域調べ」などの題材や、巻末の「歴史との対話を未来にいかす」に設定された課題学習などを通じて、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○章の冒頭では、「予告編」として、年表と共に各章で学ぶ代表的な事象や、人物の写真などを用いて整理されており、学習の見通しが立てやすくなっている。また、歴史的事象を深く知るためのコラムが豊富に掲載され、生徒の探究意欲を高め、より深い学びへのきっかけをつくらうとする工夫が見られるものの、章末の活動では、キャラクターを通じて、生徒に気付かせたい視点を必要以上に例示していることなど、全体を通して、対話的な学びを引き出す課題設定や工夫の面ではやや課題が見られる。</p>	<p>○章の冒頭の「鳥の目で見る」で、各章で学習する内容が示され、「虫の目で見る」で、資料を読み取りながら、その時代の様子を捉える活動が設定されており、生徒が学習する時代の見通しをもちやすい。章末の「学習のまとめ」では、学習した時代について話し合う場面が設けられるなど、対話的な学習につながるよう工夫されている。また、特設ページ「歴史ズームイン」では、「縄文時代探検!」のように、生徒の関心を高めながら、時代の生活や文化等をより深く理解するための内容が紹介され、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○章の冒頭に、世界地図と年表を用いて、その時代の外国で起こった主な出来事と学習課題が示されている。学習内容に沿って、毎時間の学習で「將軍吉宗のなげき」「632 日世界一周の旅」など、生徒の興味を引くようなタイトルを付けることで、主体的な学習を促している。「ふりかえる」や「学習のまとめ」では、発表や話し合い活動が提案されるなど、生徒が対話的な活動に取り組みやすいよう工夫されている。また、適宜本文内に設けられている「フォーカス」では、「郷学校から公立学校へ」「家族総出の『米こしらえ』」など、歴史の舞台に焦点を当てた解説が掲載されており、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○章の冒頭で、年表を活用し、主な出来事を確認したり、時代の特色を示す視点として、政治・外交・文化・産業に着目させる問いを示す工夫が見られる。また、節ごとの「考えよう」で、節の学習内容をより深く学ぶ問いが提示される工夫も見られるが、全体を通して、生徒が単元の学習課題に見通しをもつことができるような働きかけはあまり見られず、主体的な学びや、対話的な学びを促す工夫としては弱い。</p>

【選定の観点3-2】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
<p>○特設ページ「もっと知りたい」では、学習内容をさらに深めたり、広げたり、異なる視点で捉えたりしながら取り組む学習課題が提案されており、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○単元のまとめや見開き2ページを単位とした学習内容ごとに学習課題が設定されており、「チェック」と「トライ」の項目にて生徒が個別に学習課題に沿った学習活動を進めることができるように工夫されている。また、「みんなでチャレンジ」のコーナーも充実しており、生徒が教科書を活用しながら個別最適な学びと協働的な学びを展開できる工夫として優れている。</p>	<p>○各所に、歴史学習の興味や関心を広げていくコラム「歴史の窓」や、歴史を様々な側面から掘り下げていくテーマ学習の特設ページ「歴史を探ろう」など、本文の内容を視点を変えて捉えなおす題材が多く取り上げられるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○単元のまとめや見開き2ページを単位とした学習内容ごとに学習課題が設定されており、「確認」の項目にて生徒が個別に学習課題に沿った学習活動を進めることができるように工夫されている。また、「表現」の課題では、説明する活動など対話的な学びや協働的に学ぶ学習活動が展開できるように工夫されている。</p>	<p>○各所に本文の内容をさらに深く掘り下げるコラム「歴史プラス」だけではなく、当時の人々の姿から社会の課題を関連付けて捉える「未来に向けて」や、地域の姿を掘り下げる「地域史」など、数多くのコラムが設けられ、生徒の興味・関心を引き出し、発展的な学習に取り組みやすいようよく工夫されている。</p> <p>○単元における「節の問い」と各ページの学習課題とを関連付けて学習を進めることができるように工夫されている。また、学習課題に対応した「確認しよう」と「説明しよう」の課題を通じて、生徒が個別に学習活動を進めることができるよう工夫されている。まとめの学習課題では「対話」のマークを示して、グループ活動等を通じて協働的に学びを深めることができるように工夫されている。</p>	<p>○各時代と関連する世界の様子を地図やイラストで紹介する「〇世紀の世界」など、生徒が世界史との関連に気付くよう工夫されるとともに、「歴史へのアプローチ」「コラム」「人物」など、本文をより深める内容が数多く紹介されるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○各ページの見出しに示された学習課題や、「ステップアップ」の学習課題、資料に付された「Q」を通じて、個別に調べ、考察する学習活動を展開できるよう工夫されている。まとめにおいても問いを設定し、生徒が学んだことをそれぞれ個別に整理できるように工夫されている。</p>	<p>○毎時間に示される「見方・考え方」では、見方・考え方を働かせて、学習課題をさらに深める視点が設定されている。また、「歴史+α」「歴史を掘り下げる」「先人に学ぶ」「近代の女性」など数多くの特設ページやコラムが設けられており、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○単元のまとめや見開き2ページを単位とした学習内容ごとに学習課題が設定されており、「確認」と「表現」の項目にて生徒が個別に学習課題に沿った学習活動を進めることができるように工夫されている。資料を考察する際の問いやまとめにおいて、「学び合い」のマークを設定し、協働的に学ぶ学習活動が展開できるよう工夫されている。</p>	<p>○時代のできごとをより深く捉えるコラムとともに、学習内容と関わって「もっと知りたい」のページを設定し、生徒が発展的な学習を行う際の手がかりとなるよう工夫されている。</p> <p>○見出しの下に学習の方向性を示すとともに、「チャレンジ」の課題で、生徒に具体的な活動を示しながら、個別最適な学びを展開できるように工夫されているが、説明する、発表するなどの協働的な学びを意識した課題は、章のまとめにしか見られないといった点でやや弱い。</p>	<p>○歴史学習の幅を広げ、多角的な視点で解説する「歴史ビュー」「歴史ズームイン」、歴史を動かした人物を紹介する「人物クローズアップ」などの多彩なコラムにより、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○章の導入の「歴史絵巻」で時代の流れと学習する課題を大観させ、節の問いと関連付けられた各ページの「課題」や「確認」「探究」を活用して生徒が個別に学びを進めることができるように工夫されている。また、「探究」の課題や章の「学習のまとめ」の課題では、説明する活動など対話的な学びや協働的に学ぶ学習活動が展開できるように工夫されている。</p>	<p>○適宜本文内に設けられている「フォーカス」では、歴史の舞台となった地域や出来事などに焦点を当てた解説が掘り下げられており、また、各章末の「歴史を体験する」では、火おこし実験やインターネットでの情報探索、討論といった生徒の活動を促すことで発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○学習の問いや章のまとめの課題で、個別に学習を進めたり、協働的に学ぶ場面は設定されているが、学習状況を振り返る場面の設定が少なく、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫としては弱い。</p>	<p>○コラムや「考えよう」に示された問いを通じて、より深く学ぶための視点を示しており、章末の「まとめ学習」で調べ方やまとめ方といった技能を習得できるよう工夫されている。また、豊富な文献資料が掲載され、発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○「課題」や「考えよう」、「まとめ学習」を通じて、自ら調べ、まとめる活動を促し、個別に学習を進めることができるように工夫されている。一方で説明する、発表するなどの協働的な学びを意識した課題は、あまり見られない点でやや弱い。</p>

【選定の観点4-1】

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が我が国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえ理解し、我が国の歴史に対する愛情を深めるとともに、公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○各章の冒頭に、「導入の活動」として、学習する時代の年表が示され、毎時間には、その時代の主な出来事や文化財等と共に、生徒がどの時代の学習をしているか一目で分かるよう「時代のスケール」が用意されている。また、単元を貫く「探究課題」や各節の「探究のステップ」、毎時間の学習課題を追究することで歴史の流れが大観できるよう工夫されている。さらに、各章の「まとめの活動」では、節の問いについて、学習した内容を構造化して整理するページが設定され、Xチャートやウェビング等の思考ツールや年表を活用して、時代の出来事を整理したり、その時代の特色を文章でまとめるという一連の活動によって、生徒が歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えるための工夫が優れている。	○各章の導入「○章の学習のはじめに」では、その時代の特徴を表す図版資料を基に時代を概観し、キャラクターの吹き出しで、時代の変化に注目して、生徒が学習する時代の特色を明らかにする活動が用意されている。また、どの時代の学習をしているか一目で分かるよう「時代スケール」が毎時間掲載されているとともに、各章末「学習のまとめと表現」では、年表形式の構造図で時代の流れを大きく捉え直す活動やその時代の特色を歴史新聞、関係図等で整理してまとめる活動が設定されているなど、生徒が歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えるための多様な活動が設定されている。	○「章の問い」、「節の問い」、毎時間ごとの学習課題が設定されて、段階的に課題解決を図る中で、生徒がその時代の概観や流れが捉えられるよう工夫されている。ページの右には年表を示し、学習している時代を大観しやすいため、各章末の「学習を振り返ろう」では、年表を基に学習した時代の出来事を振り返り、「章の問い」に対する自分の考えを、思考ツールを用いて、段階的に整理し、最後には、その時代の特色を自分の言葉で表現する活動が用意されている。さらに、各時代の様子を描いたイラスト「タイムトラベル」を活用し前の時代との比較や、学習した時代の特色を改めてイラストを通して捉え直す活動が設定されるなど、生徒が歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えやすくなるための工夫が優れている。	○各章の導入で、その時代を表す主な出来事の図版資料や史跡等の写真と共に、日本と世界の年表が並べて提示されており、生徒がこれから学習する日本と世界の主な歴史の流れが概観的に捉えやすい。また、各章末のまとめでは、学習した時代の流れを振り返るための発問がワークシート形式で用意されており、それに答えていく形でその時代の特色を整理できるよう工夫されている。さらに、特設ページ「歴史を考えよう」では、江戸図屏風や関所から時代の特色を捉えるなど、本文とは異なった視点から時代の特色を捉えることができるなど、生徒が歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えるための多様な活動が設定されている。	○ページの右には年表を示し、学習している時代を大観できるよう工夫されている。各章の「学習のはじめに」で、予想や疑問を出し合い、自身で時代の特色に対する見通しが立てられるよう工夫されている。各編末の「まとめと振り返り」では、年表を使った時代の振り返り学習と共に、その時代の特色を捉え、思考ツールを活用し、段階的に、考察し、説明する力を育成する活動等が用意されているなど、生徒が歴史の大きな流れを大観しながら、各時代の特色を捉えられるよう工夫されている。	○ページの下部に年表を示し、学習している時代を大観できるよう工夫されている。各章の冒頭に、「予告編」としてその章で学ぶ代表的な事象や、人物が写真などを用いて、年表の形式で整理されており、歴史の流れが概観的に捉えられるよう工夫されている。章のまとめでは、時代の流れ、区分、比較、時代を一言で表すといった課題が設けられ、各時代の特色を捉えて理解が深まるよう工夫されている。	○ページの下部に年表を示し、学習している時代を大観できるよう工夫されている。各章の扉ページで、「鳥の目で見ると歴史」の歴史年表が図版と共に示されている。また、各章の冒頭には学習課題と共に、世界地図と年表を用いて、その時代の外国で起こった主な出来事や世界史の教材が示されており、生徒がその時代の世界の様子が捉えやすい。さらに、章や部のまとめにおいて、時代の特色に応じた図版や発問などが設けられており、スリーヒントクイズや歴史絵画の推理、その時代の人にインタビューなど、多様な活動を通して、生徒の興味を高めながら、歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えられるよう工夫されている。	○巻末に12ページにわたって、歴史の流れを大観できるよう、地球誕生から現代までの歴史年表が図版と共に示されている。また、各章の冒頭には学習課題と共に、世界地図と年表を用いて、その時代の外国で起こった主な出来事や世界史の教材が示されており、生徒がその時代の世界の様子が捉えやすい。さらに、章や部のまとめにおいて、時代の特色に応じた図版や発問などが設けられており、スリーヒントクイズや歴史絵画の推理、その時代の人にインタビューなど、多様な活動を通して、生徒の興味を高めながら、歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えられるよう工夫されている。	○年表を活用して各時代の主な出来事を確認できるようにするとともに、章の冒頭で、時代の特色を示す視点として、政治・外交・文化・産業に着目させる問いを示し、章で扱う時代の特色を捉えることができるよう工夫されている。

【選定の観点4-2】

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が我が国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえ理解し、我が国の歴史に対する愛情を深めるとともに、公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
<p>○第1章の第1節「歴史をとらえる見方・考え方」で、見方・考え方の複数の視点が紹介されている。また、随所に生徒が第1章で取り上げた見方・考え方を働かせながら考察する場面がマークで明示されるなど、生徒が意識的に見方・考え方を働かせた学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○各単元の導入、毎時間の見開き、特設ページ、まとめに、考察する際の視点や発問が具体的に示されており、単元全体を通して、生徒が考察する力を身に付けるための学習に取り組むやすい。また、考察したことを説明する課題が、毎時間ごとのまとめ活動や単元末のまとめ活動で繰り返し用意されているなど、生徒が説明する力を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭に「歴史にアプローチ」として、見方・考え方の例が示されている。また、全体を通して、「表現」「歴史の技」、資料解説に付随する「THINK！」などで、生徒が見方・考え方を働かせながら取り組む課題が用意されるなど、工夫されている。</p> <p>○導入の資料、毎時間の学習など随所に、「THINK！」として、考察の視点と共に、生徒の考察場面を引き出す活動が設定されている。また、毎時間の「表現」や各章の「学習のまとめと表現」では、学習した内容を基に説明する活動や思考ツールを用いて考察したことを整理する活動など、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭ページの「歴史的な見方・考え方」で、見方・考え方の複数の視点が紹介されている。また、各時代の様子を描いた「タイムトラベル」や各章末の「章の学習を振り返ろう」で、時代を比較することを通じて特色を捉える活動を設定し、生徒が見方・考え方を働かせて考察を深められるよう具体的な課題が設定されるなど、見方・考え方を意識した学習活動が展開できる課題設定においてよく工夫され、優れている。</p> <p>○各節の冒頭の随所に設定される「タイムトラベル」で、考察する際の視点が示され、節や章、毎時間に、考察したことを説明する課題が設けられている。また、考察を深める方法として、「思考ツール」を特設ページで紹介し、どの生徒にとっても学習に取り組むやすく、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されており、優れている。</p>	<p>○各章末のまとめで、見方・考え方を働かせながら、その時代の特色を捉えるため問いが用意されている。また、毎時間ごとに設定されている「問い」にも、生徒が見方・考え方を働かせながら考察する学習が取り入れられるなど、工夫されている。</p> <p>○毎時間の「ステップアップ」やコラムに関連した考察する視点や発問が各所に示されている。また、特設ページ「歴史を考えよう」、「地域からのアプローチ」、各章末の「章のまとめ」では、生徒が考察する際の視点や手順が示されているなど、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○第1編「歴史的な見方・考え方とは」で、見方・考え方の複数の視点が紹介されている。また、毎時間ごとに、学習課題の解決に向けた手がかりとなる見方・考え方が具体的に示されており、さらに、「チャレンジ歴史」でも、見方・考え方を働かせる課題が設定されるなど、生徒が常に見方・考え方を働かせながら考察を深められるようよく工夫されている。</p> <p>○各編の導入や毎時間の学習で、考察の視点を具体的に示し、「確認」で説明する活動、「深めよう」で学習課題をさらに深める問いが設定されている。また、「チャレンジ歴史」や各章末の「アクティビティ」でも、考察の視点や手順を3つのステップで具体的に示し、学習に繰り返し取り組む中で、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫され、優れている。</p>	<p>○章のまとめりで学習した内容について、まとめを行う際に、歴史的な見方・考え方を働かせたり、考察する力や、説明する力を育成する課題を設定している。まとめの活動の考察方法が一貫しており、繰り返し取り組むことで、歴史的な見方・考え方を働かせたり、説明する力を段階的に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>○掲載している写真や史料に関わって会話場面をイラストで示しながら、歴史の見方や考え方を働かせることができるよう工夫されている。各所に掲載されているコラムでは、本文の学習内容と関わって歴史の見方や考え方を働かせた捉え方から歴史を考察できるよう工夫されている。</p>	<p>○見方・考え方に関する説明や紹介する記述は見られないが、各章のまとめ活動など、各所に生徒が見方・考え方を働かせながら、その時代の特色を捉えるための問いや課題が設定されているなど、工夫されている。</p> <p>○各章の導入の「虫の目で見ると」や特設ページ「歴史ズームイン」等で、考察する際の視点や発問を示し、毎時間の学習や章末の「学習のまとめ」で、学習内容を説明する活動を数多く設定する工夫が見られる。終章「日本の歴史を大観する」の課題を通じて、生徒が自ら選択した歴史的事象から、考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○見方・考え方に関する説明や紹介する記述は見られない。また、生徒が見方・考え方を働かせながら、問いの解決を図る具体的な課題等もほぼ示されており、手立てとしての工夫は弱い。</p> <p>○各部のまとめ活動、各章末の振り返り活動等で、学習したことを関連付けて説明する活動が設けられているが、毎時間の学習では設定されておらず、生徒が考察する力や説明する力を身に付けるための手立てが弱い。</p>	<p>○巻頭の「国史を学ぶにあたって」のページで歴史の見方・考え方を解説し、学習の際の視点として活用できるように工夫されている。章の冒頭で、時代の特色を多面的・多角的に捉える視点を示し、生徒が各時代の特色を概念的に理解できるように工夫されている。</p> <p>○「課題」や「考えよう」を通じて、自ら調べ、まとめる活動を促し、個別に学習を進めることができるように工夫されているが、問い同士のつながりがあまり見られず、考察につなげたり、説明や議論といった対話的な活動を促すための手立てとしてはやや弱い。</p>

【選定の観点5-1】

生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の歴史と郷土に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる伝統と文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深められるよう、また、広い視野を持ち、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重する態度や国際協調の精神を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
○巻頭ページ「持続可能な社会の実現に向けて」で、環境・エネルギー・人権・平和、伝統・文化、防災・安全、情報・技術の5つのテーマが示され、また、現代社会の課題の解決に関する特集等が「もっと知りたい」として設定されている。歴史や公民とのつながりがマークで示され、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。	○第7章の最後「未来をひらくために」や終章の「歴史を振り返って、未来を構想しよう」で、SDGsの17の目標を示し、歴史の流れを踏まえて現代の課題とこれからの社会を築いていくために自分たちに何ができるかを考察・構想する学習が用意されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。	○章のまとめで、学習の節目ごとに、『これからの社会を構想しよう』の準備として学習してきた内容とSDGsとの関連を捉える視点を示している。随所に設けられたコラム「未来に向けて」では、SDGsと関連付けた環境・交流・人権・平和の視点から、先人たちの取組が紹介されている。P.307からは、「これからの社会を構想しよう」の特設ページを設定し、グループ活動等を通して、歴史的な背景を踏まえながら、問題の解決方法を考え、22世紀の中学生へのメッセージとしてまとめる活動が提案されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付ける学習課題の工夫に優れている。	○巻頭の「身近な地域を調べよう」で、一人の声や行動など、小さな歴史が大きな歴史を動かしたことを探る学習が、生徒にとって自分たちにも何ができるのかを考える動機付けとなっている、また、特設ページ「歴史へのアプローチ」「歴史を考えよう」では、多様な視点で歴史を学習し、現代とのつながりを考える中で、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。	○第6編「これからの世界と日本の課題」で、現代的な諸課題の解決のために私たちに何ができるのかを考え、災害・政治・世界平和の3テーマが用意されている。P.292～299に設定された『歴史との対話』を未来に活かす』の学習課題で、歴史や先人から学び、未来に継承・発展させるため、よりよい未来について考え、まとめる活動が提案されているなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。	○「人物コラムクローズアップ」や「もっと知りたいコラム」にて、平和に尽力した人物や、持続可能な社会づくりの歴史的な事例が紹介されており、学習内容と関連付けることで、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。	○巻末の「歴史学習のまとめ」では、歴史学習を将来どのように生かしていきたいか文章にまとめる活動「日本の歴史を学んで」が用意されるなど、生徒が持続可能な社会の姿について考えを深められるよう工夫されている。	○第6部「現代 学習のまとめ」で、時代の変化を捉え直しながら、国際社会の課題を考える課題学習として、難民、公害と環境、戦争と平和を取り上げたモデル文を基に個人又はグループで考えを深めるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。	○持続可能な社会については、本文中に用語として扱われているが、持続可能な社会の姿を考察し、生徒の社会参画意識の高まりにつなげる学習活動としては大きく取り上げられていない。

【選定の観点5-2】

生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の歴史と郷土に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる伝統と文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深められるよう、また、広い視野を持ち、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重する態度や国際協調の精神を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
<p>○本文と関連して、随所に代表的な国宝や重要文化財、史跡などが写真等で掲載されている。また、充実した文化史の紙面や、郷土の偉人を取り上げた人物コラムなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○日本の歴史の大きな流れを理解するために、日本の歴史に影響を与えた世界の動きが、各時代の中で取り上げられており、関連付けを図りながら学習できるよう工夫されている。巻末の年表には、各時代の日本の年表に加えて世界の年表を掲載することで、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○社会を動かしてきた先人の働きや民衆の営み、人々が受け継いできた多様な伝統と文化を紹介する巻頭の「私たちにつながる歴史」に加え、各所に国宝・重要文化財・世界遺産等の資料がマークと共に掲載されるなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○資料として掲載された世界地図と関連付けながら、日本の歴史に影響を与えた世界の動きを学習できるよう工夫されている。巻末には「世界地図の歴史」として、各時代の地図が紹介されるなど、当時の世界観を掴みやすくする手立てがなされるなど、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○巻末で、世界遺産や文化財が解説と共に紹介されている。時代ごとにまとめられた文化史の扱いが充実しており、「人物コラム」では、為政者だけでなく地域で活躍した人物や女性など様々な立場の人々が紹介されるなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○日本の歴史に影響を与えた世界の動きと関連付けを図りながら学習できるよう、大きめの世界地図が取り上げられている。巻末の歴史年表には、日本だけではなく世界の年表や、日本と海外の交流の欄を設けることで、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭に、日本の世界遺産が注釈付きで紹介されている。特設ページ「地域からのアプローチ」で、奈良や平泉、沖縄などの地域を通した歴史学習から、文化財保護について理解を深めたり、「人物コラム」では、歴史上の人物と文化との関連を見通すことを図り、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○日本の歴史に影響を与えた世界の動きが、各所に取り上げられている。章の始めに、その時代の日本の年表に加え、世界の年表や世界の様子が世界地図とイラストで示されているなど、関連資料や古代から近代の世界の歴史に関する記述が充実しており、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を深く学ぶための工夫に優れている。</p>	<p>○「歴史を掘り下げる」「出かけよう地域調べ」「地域に学ぶ」「先人に学ぶ」等の特設ページで、地域に受け継がれてきた行事や活動等を継承、発展させることの意義が重視されている。巻頭と巻末をはじめとして、文化史や文化財に関する資料が数多く掲載され、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○各編の始めに「地図で見る世界の動き」として、世界地図を基にイラストや資料で世界の様子を解説する特設ページが用意されている。巻末の年表には、各時代の日本の年表に加えて「世界の動き」と「外国とのつながり」の欄を設けることで、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○古事記や日本書紀に描かれている神話の物語を詳細に扱い、我が国の伝統と歴史に対する関心を高める工夫がされている。各章に設けられている「調べ学習のページ」で、各時代の特徴的な文化遺産や人々の暮らしを取り上げることで、我が国の伝統や文化を尊重する態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○末尾に「世界各国・王朝の興亡一覧」を示し、「日本の主な出来事」と世界と比べた日本の姿を国家体制の継続の視点から捉えさせる工夫がみられる。「世界の主な出来事」が年表形式でまとめられ、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○序章の「歴史探検」で、小学校で学んだ歴史上の出来事と文化遺産を関連付ける課題を設けたり、巻頭や巻末、多様な特設ページで、文化財や人物に関する資料を豊富に取り上げている。各時代で活躍した人物に着目し、文化の特色や変遷を関連付けることで、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の年表に、各時代の日本の年表に加えて世界の年表を掲載することで、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○現代に見られる芸能、文芸、建築、伝統行事などの歴史的なつながりが多彩に紹介されており、生徒が文化の担い手として主体的に学ぶことができるように工夫されている。「歴史を体験する」では、地域の博物館調べや火おこし体験などの学びを通じて、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○各章の始めに、世界の歴史との関わりを示す資料が掲載されている。巻末には12ページにわたり、現代に至るまでの日本と世界の年表が掲載され、日本の歴史の流れから、世界の動きをと捉え、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○巻末に「日本美術図鑑」として各時代の特徴を示す文化財の特集ページを設定し、日本の文化の移り変わりを眺めることができるよう工夫されている。日本の成り立ちから天皇制の継承をテーマに我が国の伝統や文化について考察を深めることができるように工夫されている。</p> <p>○巻頭に時代ごとの世界の国の王朝の移り変わりを示した図を掲載し、世界と比べた日本の姿を国家体制の継続の視点から捉えさせる工夫が見られる。巻末に掲載されたカラー地図の資料から日本と世界の歴史におけるつながりを捉えることができるよう工夫されている。</p>

【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
<p>○特設ページやコラムにおいて、在日韓国・朝鮮人、アイヌの文化など、人権や平和に関する題材が取り上げられており、生徒が人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○「もっと知りたい」や「未来にアクセス」で、杉浦千畝の命のビザ、第五福竜丸事件、震災の記憶などが題材として取り上げられており、生徒が国際理解、生命の尊さ、地域の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度などについて深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○特設ページやコラムにおいて、アイヌや琉球文化を伝えた人々、オリンピック・パラリンピックの意義、点字の始まりなどに関する題材が取り上げられており、生徒が人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○特設ページ「歴史を探ろう」で、杉浦千畝、第五福竜丸展示館、原爆の子の像などが取り上げられており、生徒が生命の尊さ、国際理解、地域の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度などについて深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○コラム「未来に向けて」や特設ページ「歴史を探ろう」において、在日韓国・朝鮮人、アイヌ民族など、日本の人権に関わる内容や奴隷制など世界の人権に関する題材が取り上げられており、生徒が人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○コラム「未来へ向けて」で、環境・人権・平等の視点から、困難な状況下で国と国とをつなぐ役割を果たした人物や出来事が取り上げられており、生徒が国際理解、生命の尊さ、地域の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度などについて深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○世界の歴史の記載が充実しており、欧米社会における民主主義の拡大や人権獲得の歴史が分かりやすく紹介されている。現代では、公民権運動を推進したキング牧師が掲載されるなど、生徒が人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○各所に設けられる特設ページ「地域からのアプローチ」では、その時代と地域の歴史のつながりを考える内容で、生徒が地域の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度について深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○コラム「地域に学ぶ」で、在日韓国・朝鮮人、アイヌの文化など、人権に関する題材が取り上げられており、また、「近代の女性」では、古代から現代までの女性の地位向上の流れが分かりやすく紹介されるなど、生徒が人権尊重の意識を高められる工夫に優れている。</p> <p>○コラム「先人に学ぶ」で、雨森芳洲、岡倉天心、杉浦千畝などが取り上げられており、生徒が国際理解、生命の尊さ、地域の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度などについて深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○特設ページ「もっと知りたいコラム」において、人命尊重や平和の獲得に尽力した人々の活躍を取り上げるなど、生徒が人権尊重の意識を高められる事項が取り上げられている。</p> <p>○特設ページ「外の目から見た日本」において、特別の教科道徳で扱う、国際理解や生命の尊さ、郷土を愛する態度などについて考えさせることができる事項が取り上げられている。</p>	<p>○、「歴史ビュー」や「人物クローズアップ」のコラムを通じて、人権に関わる題材や、平塚らいてうや田中正造など、人権に関わる課題に関連した人物が取り上げられるなど、生徒が人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○特設ページ「歴史ズームイン」やコラム「人物クローズアップ」では、日本の伝統と文化、地域の歴史に名を刻んだ偉人の足跡などが数多く紹介されており、生徒が伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度などについて深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○各時代に生きる人々の姿を中心に歴史が叙述されている。また、生徒の興味を引くようなタイトルが付されたコラムでは、奴隷制、ハンセン病患者、戦争孤児が題材として取り上げられるなど、生徒が人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○指導的な立場の人物だけでなく、様々な分野・階層の男女の生活、子どもや青年の学習・労働等が題材として取り上げられており生徒が、勤労、公共の精神、地域の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度などについて深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○アイヌや琉球文化、奴隷制、女性の権利、といった人権課題に関わる題材について、歴史上の出来事や経緯は述べられているものの、学習課題や資料として人権課題を取り上げる場面はあまり見られず、生徒が人権意識を高めるには、やや手立てとして弱い。</p> <p>○コラムでは、杉原千畝、震災での最後まで途切れなかった避難の呼びかけ、オバマ大統領の広島訪問などが題材として取り上げられており、生徒が国際理解、生命の尊さなどについて深く考えられるよう工夫されている。</p>

【選定の観点7-1】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
<p>○大きな単元を貫く「探究課題」、その解決につながる各節の「探究のステップ」、1時間ごとの「学習課題」の3段階の問いとそれぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動に取り組むことで、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。特に、各章末「まとめの活動」は、思考ツール等を用いながら、章の学習内容の理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>○地理・公民分野や他教科との関連が一目で分かるようマークが示されており、生徒が関連を想起しやすい。また、終章にSDGsに関連した学習が取り上げられるなど、現代的な諸課題に関連した学習活動が工夫されている。</p>	<p>○章ごとの問い、毎時間ごとの学習課題に対して、それぞれまとめ活動が設定されており、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。章の冒頭の「時代の変化に注目！」で、章で学習する時代の資料を読み、生徒が新たな章の学習内容を見通しながら系統立てて学習を深められるよう工夫されている。</p> <p>○見開きの左下に、他分野だけでなく他教科のどの単元や項目と関連するのかが示されており、生徒が教科を越えたつながりを意識しやすい。また、第7章にSDGsに関連した学習が取り上げられるなど、現代的な諸課題に関連した学習活動が工夫されている。</p>	<p>○単元を貫く問い、節ごとの問い、毎時間ごとの問いとそれぞれまとめや振り返り活動に取り組むことで、生徒が系統的に学習できるように工夫されている。特に、各章末の「章の学習を振り返ろう」では、章の学習内容を深める場面が段階を踏んで設定され、生徒が繰り返し継続的に取り組む中で資質・能力を習得できるように工夫されている。</p> <p>○見開きの左下に、地理や公民、他教科との関連が明示され、生徒にとって、どの単元のどの項目を振り返るとよいか分かりやすい。また、終章にSDGsに関連した学習が取り上げられるなど、現代的な諸課題に関連した学習活動が工夫されている。</p>	<p>○各章末の「まとめ」で、章の学習内容を基に、その時代の特色をまとめる活動を展開できるよう工夫されている。また、毎時間の学習課題が「ステップアップ」として発問形式で示されているが、単元や節のまとめから、生徒が単元を見通して系統的に学習するための工夫としてはやや弱い。</p> <p>○他分野や他教科等の関連を示すマーク等は設けられていないが、各章で設定される特設ページ「地域からのアプローチ」では、他分野や他教科の内容を活用しながら取り組む課題となっている。現代的な諸課題について、特設ページや最終章のまとめの学習課題で関連が図られている。</p>	<p>○各編の導入で、何ができればよいか「学習のはじめに」で示され、各章末の「まとめとふり返し」で学習を深めたり、毎時間ごとの学習課題とその課題に対応した「確認」などのまとめ活動に取り組む構成を通じて、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○地理・公民分野との関連や地図帳との関連が具体的な指示で示されているとともに、現代的な諸課題は特設ページや巻末の学習課題で関連が図られている。</p>	<p>○目標の具体的な提示は示されていないが、まとめの学習で取り上げられている課題は各章を通して、「時代比較の問題」や「人物比較の問題」など、同じ課題を取り上げ、繰り返し学ぶ中で生徒が歴史の見方・考え方を習得できるように単元の学びや構成が工夫されている。</p> <p>○他教科との関連を意識したマークを明示するといった工夫は見られず、他分野や他教科との関連を示す記載は少ない。</p>	<p>○各章冒頭の「歴史絵巻」で学習する時代の概要を捉えた上で、各章末の「学習のまとめ」で、章の学習内容を活用して、設定されたテーマについて考察し、その時代の特色を表現する活動に取り組むなど、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○現代的な諸課題は特設ページや巻末の学習課題で関連が図られているが、他分野や他教科等の関連を示すマーク等は設けられておらず、関連を意識した記載も少ない。</p>	<p>○章のまとめごとと学習課題が示されている。章末ではまとめ活動が設定されているが、各章の学習課題や毎時間の学習課題と、まとめの学習課題のつながりが見えにくく、毎時間の学習のまとめの設定も見られないなど、単元を通した系統的な構成の工夫としては手立が弱い。</p> <p>○特設ページや巻末の学習課題で、現代的な諸課題との関連が図られているが、他分野や他教科との関連を示すマークや学習課題等は設定されておらず、関連を意識した記載も少ない。</p>	<p>○各章末と章の始めに年表を示し、時代の移り変わりを生徒が意識しやすいように工夫されている。「学習課題」と「まとめ学習」は設定されているが、通史として、歴史上の出来事を時代の流れに沿って学習する構成が強く、単元のまとめの中で多面的・多角的に事象を捉え、各時代の特色やつながりを見通す系統的な学びへの手立てとしては弱い。</p> <p>○他分野や他教科等の関連を示すマーク等の明示といった工夫は見られず他分野や他教科との関連を示す記載は少ない。</p>

【選定の観点 7-2】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
<p>○各章の最初に、小学校の学習に関連付けられたイラスト付きの年表や小学校の学習で取り上げられた資料、「小学校の社会科で習ったことば」が示されるなど、小・中の接続が図られている。</p> <p>○第1章の「身近な地域の歴史」や各章の特設ページ「地域の歴史を調べよう」を通して、地域の歴史に目を向けることで、生徒の身近な地域への愛着を深められるよう工夫されている。また、教科書の裏表紙に保護者の皆様への記述があり、保護者との連携について工夫されている。</p>	<p>○第1章で、小学校で学習した人物や文化遺産を振り返る活動が設定されている。また、小学校学習した人物には「小学校マーク」が付けられるなど、小・中の接続が図られている。</p> <p>○第1章の「身近な地域の歴史を調べよう」や各章の特設ページ「身近な地域の歴史を調べよう」を通して、地域の歴史に目を向けることで、生徒の地域への愛着を深められるよう工夫されている。また、教科書の裏表紙に保護者の皆様への記述があり、保護者との連携について工夫されている。</p>	<p>○単元のはじめの「タイムトラベル」で、小学校で学んだ主な出来事や人物が紹介されている。また、見開きの左下に小学校と関連する項目が示されるなど、小・中の接続が図られている。</p> <p>○第1部の「歴史の調べ方・まとめ方・発表の仕方」や特設ページ「歴史を探ろう」、コラム「地域史」を基に、身近な地域に目を向けることで、生徒の地域への愛着を深められるよう工夫されている。</p>	<p>○適宜、小学校で学習した内容が記載されている。また、高等学校の日本史や世界史につながる内容も多く扱われており、高等学校との接続をより意識して工夫されている。</p> <p>○各章で設定される特設ページ「地域からのアプローチ」を通して、地域の歴史に目を向けることで、生徒の地域への愛着を深められるよう工夫されている。また、巻頭の「はじめに」のメッセージは、保護者とも共有できる内容となっている。</p>	<p>○各章冒頭に示される時代の流れを掴むための年表及び各ページで該当人物が登場した際の見開き左下に、小学校で学習した人物として明示されており、小・中の接続が図られている。</p> <p>○特設ページ「でかけよう！地域調べ」や「地域に学ぶ」を基に、身近な地域に目を向けることで、生徒の地域への愛着を深められるよう工夫されている。また、巻末の「歴史を学んで」のメッセージは、保護者とも共有できる内容となっている。</p>	<p>○各章の冒頭に、「登場人物コーナー」が設けられており、小学校で学習した人物が中心となって取り上げられている。</p> <p>○序章「歴史の捉え方」の第3節「地域の歴史を調べる」や調べ学習のページにおいて、各地域の歴史に着目できるような工夫がされている。また、巻頭の「歴史を学ぶとは」のメッセージは、保護者とも共有できる内容となっている。</p>	<p>○序章「歴史探検」や各章「歴史絵巻」で、小学校で学んだ先人がイラストで紹介されており、各時代の出来事と関連させながら、歴史の流れを振り返ることができるなど、小・中の接続が図られている。</p> <p>○第1章「身近な地域を調べてよう」や特設ページ「地域の歴史を調べてみよう」では、大阪市や横浜市を例に、身近な地域に目を向けることで、生徒の地域への愛着を深められるよう工夫されている。また、巻末の「歴史の旅の終わりに」は、保護者とも共有できる内容となっている。</p>	<p>○巻頭の「歴史を楽しく学ぼう」で、小学校の学習を振り返る活動が掲載されており、人物カードと出来事・文化カードの作成を行うなど、小・中の接続が図られている。</p> <p>○p.132の「地域の博物館で調べる」や「地域の歴史を歩く」では、身近な地域に目を向けることで、生徒が地域の歴史に対する興味・関心を深められるような工夫が見られる。また、巻末の「歴史学習を終えて」のメッセージは、保護者とも共有できる内容となっている。</p>	<p>○序章に、小学校で学んだ人物と文化が掲載されており、小・中の接続が図られているが表記は少ない。</p> <p>○本文やコラムを通じて、地方に見られる伝統文化や文化財を詳しく紹介し、学習課題としても取り上げることで、日本の各地域への関心を高め、地域の歴史に対する愛着を深められるよう工夫されている。</p>

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名								
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
<p>○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすいよう工夫されている。本文と資料の内容を図番号によって関連付けられており、使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○読みやすいゴシック体の振り仮名が採用されており、本文と資料の背景色を変えることで、より本文の文字が読みやすくなるよう工夫されている。ユニバーサルデザインフォントが採用されており、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」が採用されるなど、工夫されている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙と環境に配慮した植物油インキが使用されている。</p>	<p>○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすいよう工夫されている。本文と資料の内容を図番号によって関連付けられており、使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○重要語句は太文字のゴシック体で表記されており、グラフの色使いなどに統一感をもたせるなど、工夫されている。カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントに配慮されている。また、見開き右下の色分けされたインデックスで単元が分類されるなど工夫されている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすく、本文と資料の割合バランスも適切である。本文と資料の内容を図番号によって関連付けられており、使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○写真やグラフがバランスよく配置されており、絵と写真を組み合わせて提示するなど、生徒に分かりやすく工夫されている。カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントに配慮されている。また、グラフなどは、線種を変えたりするなど色以外の情報からも読み取れるよう配慮されている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○軽くて耐久性に優れた再生紙とライスインキが使用されている。</p>	<p>○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすいよう工夫されている。本文と資料の内容を図番号によって関連付けられており、使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○写真やグラフがバランスよく配置されており、絵と写真を組み合わせて提示するなど、生徒に分かりやすく工夫されている。カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントに配慮されている。また、ページ番号に色分けされたインデックスで単元が分類されるなど工夫されている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙と植物油インキが使用されている。</p>	<p>○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすく、本文と資料の割合バランスも適切である。本文と資料の内容を図番号によって関連付けられており、使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○読みやすいゴシック体の振り仮名が採用されており、統計やグラフの典拠年まで示されるなど、工夫されている。カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントに配慮されている。また、ページ番号に色分けされたインデックスで単元が分類されるなど工夫されている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○コラムや、図・表・地図、文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習が進めやすい。本文と資料の内容を図番号によって関連付けられており、使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○重要語句は太文字のゴシック体で表記されている。写真や資料はバランスよく配置され、生徒に分かりやすく工夫されている。カラーユニバーサルデザインやフォントに関する記述は見られない。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や環境に配慮したインクの使用に関する記述は見受けられない。</p>	<p>○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすく、本文と資料の割合バランスも適切である。本文と資料の内容を図番号によって関連付けられており、使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○写真やグラフがバランスよく配置されており、絵と写真を組み合わせて提示するなど、生徒により分かりやすくする工夫がされている。図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示が工夫されるなど、カラーバリエーションに配慮されている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすい。本文と資料の内容を図番号によって関連付けられていない。</p> <p>○本文の重要語句をゴシック体で示さないことで、語句にこだわらず歴史の学習を深められるよう工夫されている。写真やグラフがバランスよく配置されているなど工夫されている。カラーユニバーサルデザインを取り入れており、すべての生徒に使いやすい配慮がなされている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○各学習の資料が白黒であること、節の区切りを示すタイトルがページ途中に示されているため、学習課題と学習内容のつながりが分かりにくい。巻末資料に、地図や日本美術図鑑があるが、全体的に学習の理解を深める資料に乏しい面が見られる。</p> <p>○本文と文献資料をフォントの違いで判別できるようになっているものの、見やすく読みやすいような工夫・配慮という点では、他社と比較するとやや劣る。カラーユニバーサルデザインやフォントに関する記述は見られない。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や環境に配慮したインクの使用に関する記述は見受けられない。</p>